

Take action for your Future

福井県立武生高等学校 SSH 研究推進部 No.11 R3.3.8 (月)

2年理数科各種研究発表会

SR1プレ発表会開催

令和3年2月10日(水)13:10から、本校第1AV室にて、理数科2年生による、「科学研究I」プレ発表会が開催されました。11のグループそれぞれが物理・数学・生物・地学・化学の分野で今年度研究してきた内容を、パワーポイントを使用して発表しました。各グループとも10分間の発表のあと質疑応答が活発に行われました。厳正な審査の結果選ばれた5つのグループは2月17日の生徒課題研究発表会において、探究進学科1年の生徒たちの前で再度発表を行いました。

順	分野	発表テーマ	発表者
1	物理	空気抵抗 ～速度に比例？速度の2乗に比例？～	齋藤 空琉 佐々木颯太 津田 伯斗
2	数学	避難所の考察 in 越前市	石田 幸子 田中 未羽
3	生物	光や温度で植物に影響はあるのか	窪田 健人 小林 工起 松濱 紘基
4	物理	凸凹をつけたブレードを用いた 小型風力発電の開発	角井 健悟 布目 侑大 細野 心矢
5	地学	大気圏の気温と積雪の関係	大柳 千泉 片山 結 菊池 咲良 高島 愛琉
6	生物	フラボノイドの効果	近藤 滯南 酒井ななみ 藤本 琉生
7	生物	ハエトリグサの記憶	五十嵐 翔 織田真一郎 片山 菖伸
8	数学	僕らの算額	大山 泰輝 奥村 想 目黒 大士
9	生物	乳酸菌と植物の関係	勝見 紗妃 清水 瑠凧 深井 小由
10	地学	鯖江断層は越前市村国山を通る ～湧き水を用いて断層のルートを解明～	大友 奈々 小田明日花 初山 優芽 松井 咲来
11	化学	植物からゴムを作る	土井 大輔 林 亮斗 宮本 陽平 吉本 向希



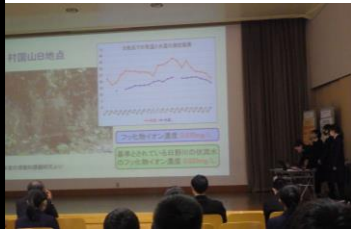
<発表者の感想>

全員の前の発表はとても緊張した。実験結果については不安なことばかりだったが、うまくまとめることができよかった。自分の興味のあるものに対して、時間をかけ追及することができたことは、大学や社会に出たとき役に立つと思った。他の班の発表を聞いて自分の勉強不足を痛感したので、もっといろいろなことについて知りたいと思った。

生徒課題研究発表会

令和3年2月17日(水)本校葵講堂にて、理数科2年生が、科学研究Iで取り組んだ課題研究に関して、代表5グループが探究進学科1年生も参加した中発表を行いました。各グループの発表時間はプレ発表と同じく10分、その後の質疑応答は2分用意され、時間いっぱい使って活発な質疑応答が繰り広げられました。探究進学科の1年生は来年度から取り組む課題研究に参考にするため一生懸命に聞き取ろうとする態度が見られました。来年度の研究がとても楽しみです。

<口頭発表 および 質疑応答の様子>



鯖江断層



植物からゴムを作る



フラボノイドの効果



質疑応答



避難所の考察 in 越前市

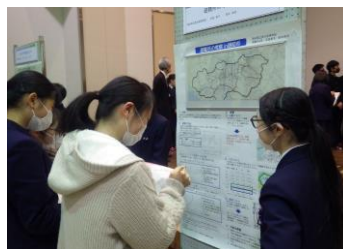


小型風力発電



質疑応答

<ポスター発表の様子>



★参加した探究進学科1年の生徒たちからは、

- ・事前知識の大切さを再認識した。
- ・前回自分たちが指摘された仮説の立て方が少し理解できた
- ・グループで実験を繰り返していく過程で、新しい発見を得て、最終的な結果を踏まえて大きな発見に繋げるという一連の流れができていて面白い発表だった。

★福井大学教授、米沢晋先生より以下のようなアドバイスをいただきました。

今回の研究は、いろいろな現象について、またモデルとして～である、といった発見があり、いずれも素晴らしいものでした。今後はさらに研究を進めることが大事なことです。次の段階として、量の点でデータを増やし、研究内容の精度を高めていくことが必要です。また、質問についても、より活発な質疑応答にするためには、事前に内容を知り研究内容に沿った質問を考えていくことが今後のレベルアップには求められます。がんばりましょう。



南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞

令和3年2月11日(木)建国記念の日、福井市のAOSSAにて本校理数科3年生の鯖江断層チームが優秀賞を受賞し、賞状とメダルを授与されました。午後から高志高校にて、「福井県合同課題研究発表会」が開催され、県内の課題研究に取り組む生徒たちが一同に会し、口頭発表およびポスター発表が行われ、本校も理数科の2年生が参加しました。